

令和 2 年度公共用水域水質測定結果について



環境省は、水質汚濁防止法に基づく測定計画に従って、国及び地方公共団体が実施した 2020 年度の公共用水域の水質測定結果を取りまとめました。

人の健康の保護に関する環境基準（以下、健康項目）では、ほぼ全ての地点で環境基準を達成しています。生活環境の保全に関する環境基準（以下、生活環境項目）では、河川において BOD はほとんどの水域で環境基準を達成している一方で、COD と全窒素及び全燐では、湖沼において両方とも 5 割程度、海域においてそれぞれ 8 割程度と 9 割程度の達成率となっています。湖沼や海域においては、COD やそれと密接に関係のある全窒素および全燐による水質汚濁の改善に必要な状況となっています。

【測定内容】

＜主な測定項目及び測定地点数、検体数等＞

- ・ 健康項目： カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素 など 27 項目
5,276 地点、199,707 検体
- ・ 生活環境項目： BOD、COD、全窒素及び全燐 など 13 項目
3,326 水域、7,004 地点、456,621 検体

【主な測定結果】

対象	分析項目	2020 年度		2019 年度	
		水域数	達成率(%)	水域数	達成率(%)
全て	健康項目	5,276	99.1	5,318	99.2
河川	BOD	2,567	93.5	2,572	94.1
湖沼	COD	189	49.7	188	50.0
	全窒素及び全燐	123	52.8	120	49.2
海域	COD	570	80.7	590	80.5
	全窒素及び全燐	151	88.1	151	91.4

当社では、河川、湖沼等の公共用水域における環境水分析に加え、多くの排水項目の分析についても長年の実績があり、短納期での対応が可能です。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談下さい。

資料 [2022 年 1 月 17 日付 環境省報道発表資料](#)

環境検査箇所 鶴谷佳代

当社では毎月メールマガジンを配信しております！

情報はよく目にするが情報量が多い。情報はあるけれど理解しづらい文章が多い。そのような お悩みを解決すべく、なるべくわかりやすい文章で、最新情報や時期的に必要なと思われる情報をメールマガジンにしてお届けしています。ご了承いただければ配信致します。

